

日中関係の信頼・協調の枠組み造りのための構想
日中「歴史の変わり目」をどう考えるか、未来をどう切り開くか

第3回シンポ「名古屋大会」

中国経済と日中相互依存の未来

中国经济与中日相互依赖的未来

開催
日程

2012年10月5日 金

会場

愛知大学 車道校舎
本館3階コンベンションホール

愛知県名古屋市長区筒井2丁目10-31 (地下鉄桜通線「車道」駅下車、徒歩2分)
※駐車場はございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

10月5日 金 12:00 開場

開会挨拶 12:30~13:00

金田章裕 (大学共同利用機関法人・人間文化研究機構機構長)
佐藤元彦 (愛知大学学長)

趣旨説明 13:00~13:15

高橋五郎 (名古屋大会実行委員長、愛知大学教授)

基調講演1 13:15~14:00

「実業界から見る日中経済関係の過去と未来」

加藤雅大 (トヨタ自動車常勤監査役)

基調講演2 14:10~14:55

「中所得の罅を越える中国の経済発展」

陸 丁 (北米・中国经济学会会長、カナダ・フレーザー・バレー大学教授)

パネルディスカッション1 15:00~16:30

「現場から考える相互依存の日中経済」 司会：青樹明子 (北京人民ラジオキャスター)

王 正華 (春秋航空会長)、山田 昇 (デンソー常務役員、電装 (中国) 投資有限公司総経理)
津上俊哉 (津上工作室代表)、加藤秀明 (日中農業経営)

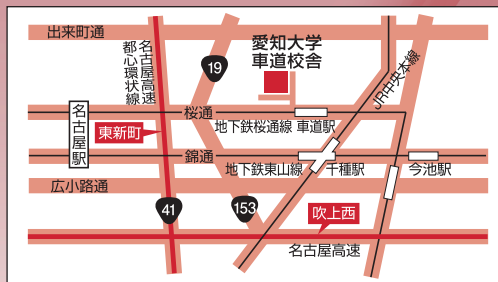
パネルディスカッション2 16:50~18:20

「どう見る中国経済の行方と日本」 司会：李 春利 (愛知大学教授)

柯 隆 (富士通総研首席研究員)、川井伸一 (愛知大学副学長)、丸川知雄 (東京大学教授)
梶谷 懐 (神戸大学准教授)

閉会のまとめ 18:20~18:30

天児 慧 (4大会総合実行委員長、早稲田大学アジア研究機構現代中国研究所所長)



日本語・中国語 (同時通訳)

定員 250 名

聴講無料

要申込

申込方法

裏面の「参加申込書」に必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。メールの場合は、メール本文に「参加申込書」の記載事項を明記の上、お申込みください。(電話での受付は行っていません) 先着順のため、定員になり次第、締め切りとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

1972

2012

お申込み /
お問い合わせ

愛知大学国際中国学研究センター (ICCS) 事務室

〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町四丁目60番6

Tel: 052-564-6120 (月~金/9:00-17:00) / Fax: 052-564-6220

E-mail: iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp

URL: http://iccs.aichi-u.ac.jp/

主催 | 大学共同利用機関法人・人間文化研究機構 (NIHU)
名古屋大会主催校 愛知大学国際中国学研究センター

後援 | 中華人民共和国駐名古屋総領事館、中日新聞社
中部経済連合会、東海日中貿易センター
中部経済新聞社、東海テレビ放送